



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 地盤ネットホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6072 URL <https://jiban-holdings.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 高広
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 玉城 均 TEL 03(6265)1834
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	429	△15.9	△5	—	△3	—	△4	—
2024年3月期第1四半期	510	△13.5	△19	—	△23	—	△24	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △5百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △23百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△0.21	—
2024年3月期第1四半期	△1.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,576	1,250	79.3
2024年3月期	1,600	1,256	78.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,250百万円 2024年3月期 1,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	940	△3.4	11	—	9	—	0	—	0.02
通期	2,000	6.5	51	—	48	—	25	—	1.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	23,148,000株	2024年3月期	23,148,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	142,721株	2024年3月期	141,421株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	23,005,379株	2024年3月期1Q	22,821,786株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は純粋持株会社であるため、「2025年3月期の個別業績予想」は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により回復基調がみられる一方で、世界的な金融引き締めによる円安や物価高騰、不安定な国際情勢等、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループの主要な事業領域である国内の住宅市場においては、人材不足、原材料価格の高騰が継続しており、当第1四半期連結累計期間の新設住宅着工戸数(※1)の合計は85,013戸(前年同期比8.9%減)となりました。持家の着工戸数は54,317戸(前年同期比6.0%減)、分譲住宅(一戸建て)の着工戸数は30,696戸(前年同期比13.7%減)となっております。

これらの環境において、当社グループは、新たに2025年3月期から2027年3月期までの中期経営計画を策定しました。中期経営計画の初年度である当連結会計年度は、既存事業のサービス競争力の強化と既存技術の向上の為「地盤事業」「BIM Solution事業」に経営資源を継続的に投下し、当社グループの収益構造を再構築し、収益性を向上させる方針で取組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は429,423千円(前年同期比15.9%減)、営業損失は5,497千円(前年同期は営業損失19,359千円)、経常損失は3,724千円(前年同期は経常損失23,927千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,868千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24,238千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、「JIBANGOO事業」は「その他」に変更しております。

<地盤事業>

当第1四半期累計期間の売上高は353,276千円(前年同期比13.2%減)、セグメント利益46,171千円(前年同期比8.1%減)となりました。

新たな営業体制による既存顧客との関係強化・新規取引先の開拓に取り組んでおりますが、依然として厳しい国内住宅市場の中での新設住宅着工戸数減の影響をフォローしきれず、前年同期比で減収減益となりました。一方で、一般社団法人住宅DX推進協議会への加盟により、住宅地盤の解析基準の統一化による地盤事故の再発防止に取り組むことで、技術力の向上とサービス競争力強化を進めています。

<BIM Solution事業>

当第1四半期累計期間の売上高は76,005千円(前年同期比17.4%増)、セグメント損失3,482千円(前年同期はセグメント損失20,522千円)となりました。

住宅業界から非住宅業界に拡大させていた営業活動の成果が表れ、受注の拡大が進み前年同期比で増収となりました。また、前連結会計年度中に、BIM(※2)の生産拠点であるJIBANNET ASIA社における固定費等の改善を完了させた影響で、セグメント損失額も改善されました。

引き続き、技術力向上に伴うサービス競争力強化に取り組む、当社グループをけん引する事業となるよう取組んでまいります。

<その他>

当第1四半期累計期間の売上高は141千円(前年同期比99.7%減)、セグメント損失1,095千円(前年同期はセグメント損失145千円)となりました。

JIBANGOO事業において、前連結会計年度以前に引き渡しを終えていた住宅の追加工事や是正工事等が発生した影響で、セグメント損失が発生しました。

(※1) 国土交通省「建築着工統計調査報告」より、当社グループの事業領域である持家、分譲住宅(一戸建て)の戸数を合算して、新設住宅着工戸数としております。

(※2) BIM: Building Information Modeling

コンピュータ上に作成した主に3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築するシステム

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1,576,881千円となり、前連結会計年度末に比べ23,703千円減少いたしました。流動資産は1,451,457千円となり、前連結会計年度末に比べ22,807千円減少いたしました。これは主に、未収入金が19,027千円増加、現金及び預金が14,393千円減少、売掛金が7,091千円減少、前払費用が16,639千円減少したことによるものであります。固定資産は125,423千円となり、前連結会計年度末に比べ895千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用が1,526千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は326,319千円となり、前連結会計年度末に比べ17,866千円減少いたしました。流動負債は223,975千円となり、前連結会計年度末に比べ14,368千円減少いたしました。これは主に、未払金が13,001千円減少したことによるものであります。固定負債は102,344千円となり、前連結会計年度末に比べ3,498千円減少いたしました。これは主に、損害補償引当金が9,000千円増加、長期借入金が12,498千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,250,562千円となり、前連結会計年度末に比べ5,836千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失4,868千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、概ね予想通りに推移しているため、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては2024年5月14日公表時から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,944	949,551
売掛金	240,194	233,103
電子記録債権	45,795	42,291
商品	8,988	9,353
仕掛品	3,334	4,022
貯蔵品	422	422
前払費用	68,528	51,889
未収入金	148,144	167,171
その他	22,877	21,529
貸倒引当金	△27,966	△27,877
流動資産合計	1,474,265	1,451,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,284	8,284
減価償却累計額	△1,982	△2,136
建物及び構築物（純額）	6,301	6,147
機械装置及び運搬具	7,840	7,840
減価償却累計額	△7,839	△7,839
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
その他	67,762	69,259
減価償却累計額及び減損損失累計額	△44,652	△47,259
その他（純額）	23,109	22,000
有形固定資産合計	29,411	28,148
無形固定資産		
ソフトウェア	46,316	49,177
その他	13	5
無形固定資産合計	46,329	49,183
投資その他の資産		
出資金	1,000	1,000
長期貸付金	7,876	7,417
繰延税金資産	2,054	2,054
その他	40,526	38,500
貸倒引当金	△879	△879
投資その他の資産合計	50,577	48,092
固定資産合計	126,319	125,423
資産合計	1,600,584	1,576,881

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,269	60,282
工事未払金	—	52
短期借入金	49,992	49,992
未払金	34,274	21,272
未払法人税等	—	3,544
賞与引当金	34,515	15,474
その他	62,293	73,358
流動負債合計	238,344	223,975
固定負債		
長期借入金	45,842	33,344
損害補償引当金	60,000	69,000
固定負債合計	105,842	102,344
負債合計	344,186	326,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,162	491,162
資本剰余金	19,300	19,300
利益剰余金	758,868	753,999
自己株式	△28,236	△28,236
株主資本合計	1,241,093	1,236,225
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,304	14,336
その他の包括利益累計額合計	15,304	14,336
純資産合計	1,256,398	1,250,562
負債純資産合計	1,600,584	1,576,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	510,736	429,423
売上原価	306,763	236,903
売上総利益	203,972	192,519
販売費及び一般管理費	223,331	198,017
営業損失(△)	△19,359	△5,497
営業外収益		
受取利息	35	33
為替差益	—	2,222
受取保険金	1,300	198
その他	294	770
営業外収益合計	1,630	3,224
営業外費用		
支払利息	—	128
為替差損	2,013	—
訴訟関連費用	4,000	1,300
その他	184	22
営業外費用合計	6,198	1,451
経常損失(△)	△23,927	△3,724
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,927	△3,724
法人税等	310	1,144
四半期純損失(△)	△24,238	△4,868
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,238	△4,868

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△24,238	△4,868
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	858	△967
その他の包括利益合計	858	△967
四半期包括利益	△23,379	△5,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,379	△5,836
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末日
後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	地盤事業	BIM Solution 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	405,263	64,750	470,013	40,722	510,736	—	510,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,952	—	1,952	—	1,952	△1,952	—
計	407,215	64,750	471,965	40,722	512,688	△1,952	510,736
セグメント利益又は損失(△)	50,228	△20,522	29,705	△145	29,560	△48,919	△19,359

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JIBANGOO事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	地盤事業	BIM Solution 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	353,276	76,005	429,282	141	429,423	—	429,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	353,276	76,005	429,282	141	429,423	—	429,423
セグメント利益又は損失(△)	46,171	△3,482	42,688	△1,095	41,593	△47,091	△5,497

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JIBANGOO事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた「JIBANGOO事業」について、量的な重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載していません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	5,816千円	6,274千円
のれんの償却額	506千円	一千円

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年8月9日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするとともに、1株当たりの株主価値を高めるため。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 530,000株(上限)
(発行済み株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.3%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 50,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2024年8月13日～2024年11月12日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |